



なまこ壁の特徴

蔵などの建物の壁に瓦を貼り、その目地に漆喰をかまぼこ型に盛った伝統的な壁塗りの様式です。潮風や台風などから建物を守り、土壁や板壁よりも耐火性に優れ保温、保湿性もあることから全国に普及しました。松崎町には190棟が残っています。

鏝絵って何?

左官が鏝を使いレリーフ状に盛り上げて描く絵であり、長八が始めたといわれています。長八は白い漆喰を日本画の顔料で着色し、漆喰の白い世界に色を持ち込み、鏝絵という新しい分野を確立しました。

国指定重要文化財のなまこ壁と擬洋風建築の建物。長八作品の傑作といわれる日の出を目指して飛翔する鶴の鏝絵があります。(開館9時~17時/不定休/大人300円・中学生以下無料)

伊豆文の足湯

人間そっくりな桑山子の花飾り展示

かけ流しの足湯。本棚の本も読み放題ですが、熱い湯でゆっくり本を読む強者になれるのか...はチャレンジです。

正面の鏝塚の扁額は内閣総理大臣小泉純一郎氏の書です

1984年(昭和59年)石山修武氏の設計で吉田五十八賞を受賞した建物。第21回全国漆喰鏝絵コンクール優秀作品展示中! 10月1日~11月7日

樹齢1000年の大イチョウ

経堂には名匠石田半兵衛作の輪藏(廻転書庫)があり、3回まわしながら念仏を唱えたと経典を読経したと同じご功德がある

欄干は桜やツバメの鏝絵で装飾されています

奇抜なデザインの橋は建築家・石山修武氏によるもの。

ざる菊、盆栽、押し花、こけ玉、オリジナルレイの展示

松崎町環境改善センター

永楽堂(菓子)

松崎町役場

サンタローザ(ピザ)

しんしま橋

宮の前橋

至 下田市 → 至 旧依田邸 → 5.5km先

↑ 至 土肥

● なまこ壁の建造物
 ● 鏝絵
 24h コンビニ
 ★ 食事処
 ★ 買い物
 P 駐車場
 WC トイレ

長八のすごさとは?

江戸時代、日本には芸術家という概念はなく、芸術性が高いといわれる浮世絵なども“職人”が作ったものです。左官は建物をつくる職種のひとつですが、“伊豆の長八”こと入江長八は、狩野派の技法を取り入れた“漆喰鏝絵”という独自分野を築き上げました。現代にも残るその作品の芸術性は、建物とも相まって空間芸術家として高く評価されています。

左官の神様 入江長八

江戸末期から明治にかけて活躍した名工。松崎町で生まれ、11歳で左官棟梁に弟子入りし、江戸に渡り狩野派の絵画、さらに彫刻をも学び、その技法を漆喰細工に応用しました。26歳で名工「伊豆の長八」と名を馳せ、75歳まで活躍しました。

※左官とは
 鏝を使って建物の壁や床、土塀をつくる伝統的な日本の技術。ユネスコの無形文化遺産に登録される「伝統建築工芸の技」のひとつ

伊豆の長八美術館

「雲龍」長八記念館 蔵

①伊豆の長八美術館
 鏝絵はそれだけが独立した作品ではなく建物に付随し、左官職人が施主に提供した遊び心、感謝の心の表れです。日本随一の鏝絵の美術館で長八の鏝絵作品が展示されています。(開館9時~17時/年中無休/大人500円・中学生以下無料)

②長八記念館
 本堂の四隅の柱から喜び、悲しみ、怒り、無関心として見える「雲龍」の墨絵+鏝絵の天井絵があります。また、一對の天女の鏝絵には「天女の足」が見えるなど、粋な男だったといわれる長八の遊び心が見られます。名匠石田半兵衛

「天女」長八記念館 蔵

と長八が作った唐獅子があります。(開館9時~15時30分/不定休/大人500円・中学生以下無料)

③伊那下神社
 長八が奉納した神功皇后と応神天皇を抱いた忠臣竹内宿禰の像は着物の彩色、顔の表情など見

事です。巻物を加えた鶴と宝玉をもった七福神の一神、福祿寿の像は、上部が外れ香が焚ける仕掛けとなっています。さらに山岡鉄舟の書への鏝絵は圧巻!

④伊豆文邸
 1910年(明治43年)建築の呉服商の建物。外観には渦巻・牡丹など見事な鏝絵が施されています。(開館9時~16時/不定休)

⑤明治商家 中瀬邸
 松崎町唯一の黒漆喰の建物で、1887年(明治20年)に建てられました。当時の豪商の生活の様子を垣間みることができます。

⑥近藤邸 (なまこ壁通り)
 鎮痛剤などにも使われるアルカロイド研究の第一人者で世界初、麻酔を作成した近藤平三郎博士の生家。薬問屋だった建物は見事ななまこ壁(外観のみ公開)

⑦浜丁 (旧依田四郎邸)
 浜丁橋のたもとにあるなまこ壁の古民家。土日にカフェ、資料館として開放されています。(開館10時~16時)

フェスタ長八実行委員会
 令和3年度文化庁文化芸術振興費補助金(地域文化財総合活用推進事業)